
【たいへん】

とーよー

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

【たいへん】

【Nコード】

N8326T

【作者名】

とーよー

【あらすじ】

タイヘンな事がある話

「なあサイトウ」

『なんだよ』

「もうすぐ卒業だな」

『おう。そうだな』

彼の名字は斎藤である。

べつにフツーに斎藤である。しかし、下の名前が、たいへんである。

斎藤12歳。

彼の下の名前はロバート・ジュニア・アタック・アパチメント・サ
ンダー・フィクターネス・エンブレム・ロイヤリティー・リアリズ
ム・スキヤンダル・スカウト・ヤナヒラギ……と、まだまだ果てし
なく長く続くが、もちろん読者にそんな苦勞を強いれるはずもない
ので以下ヤナヒラギで統一するものとしよう。

斎藤ヤナヒラギ。

彼が何故こんなに变で長い名前になってしまったかというと、それ
は両親に問題があった。

サイトウの親はサイトウであり、そんな事は当たり前の事である。

斎藤ヤナヒラギの父は斎藤シンジであり、その父の妻となった母は
斎藤ミチコ。べつにフツーの名前なのだが、性格の方がフツーでは

なく、頭のおかしな斎藤ミチコは出産届けの名前の爛をジーっと見ながら我が子を抱いて、こう言った。

「…ネエネエあんた」

『なになに妻よ』

「子供の名前めっちゃ長くしたら面白くない？」

『ウケる、ウケる、ソレやろー』

こんな軽いノリでヤナヒラギはとんでもなく大変な名前になってしまったわけである。

しかし、モチロンわざわざ名前全てで呼ぶ者などおらず、ほとんどの場合いが名前の1番頭であるロバートで省力され、彼がヤナヒラギだという事を知る者も非常に少なく、時には本人ですら忘れていた。

しかし、どうしても逃れられない事もある。

まずは保険証が大変だ。

ヤナヒラギは風邪をひく度にタウンページの様に分厚い保険証を両手に抱え病院へ行かなければならなかった…。「ええー。つぎの方どーぞー」…のパターンなら、まだイイが、市役所や区役所等の様な正式に名前を呼ばなければならぬ場所では、ソレは、ソレは、大変だった。

それでも、市役所で名前を呼ばれたし、受付けに着くまでにロバー

トだけでは無理であっても、せいぜいエンブレム辺りで受付けに着く事が多く、ヤナヒラギにまでいく事さえもほとんどなかった。――しかし、事件は常々起こるもので、その日、エンブレムは熱を出し、大きめの総合病院に行った。ダダッピロイ待合室で自分の順番を待つエンブレムは1度席を立ち、ウンコをした。

―ブリブリ―

ジャーと出てくると

すでに名前は呼ばれており、ヤナヒラギを優に越えたミラバサバやマスヌイムにまで突入していた。

それは、ヤナヒラギ自信も分かっておらず、しばらくボーと待合室のテレビを見ていたが、あまりにも長く呪文めいた謎の呼び掛けに、ハッ！と気が慌てて受付に行く等、この様にたいへんな事は常々起こっていた。

そして、今日、この日、ヤナヒラギは6年間通い続けた小学校を卒業する。

卒業式では卒業生が1人ずつ名前を呼ばれ卒業証書を受け取る事になっていた。

それは伝統的な行事であるため省く事は無理であったが斎藤の名前の長さを知っていた教師はPTAP教育委員会に相談したが、――「例外は認められないでザマスわ」と、ザマスのヤツに決断を下され、その年の卒業式は例年より3時間ほど早く始まったが、終わったのは、例年より3時間ほど後の事であった。

卒業式が終わった。

めちやくちゃ分厚い卒業アルバムを眺めながら「いよいよ。来週か

らは中学だ」と心の中で呟いた。

まだまだ先の事ではあるが、中学の卒業式、高校、大学、そして、将来、自分に向いている職業、など、ソレがどういったものになるかは、まだ12歳である彼には全く分かっていなかった。

しかし、他の同年代よりは、それなりに予想出来ていたし、深く考えていた。そして、その予想は大きく外れてもいなかった…

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8326t/>

【たいへん】

2011年10月9日04時50分発行